

## 臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### 【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 臨床研修部 谷川 彰

### 【研究責任者】

聖路加国際病院 臨床研修部 谷川 彰

眼科 稲垣 圭司

予防医療センター 木村 武志

# 中心性漿液性脈絡網膜症の方を対象としたマイクロパルス閾値下レーザーによる治療に関する研究

## 1.研究の対象

2009年4月13日～2018年7月31日において、中心性漿液性脈絡網膜症に対してマイクロパルス閾値下レーザー治療行なった方

## 2.研究の目的・方法

中心性漿液性脈絡網膜症は働き盛りの中年男性に好発し、黄斑部に漿液性網膜剝離がみられる疾患です。発症早期には変視・色覚異常・暗点などの自覚症状が出現します。黄斑部の病変が遷延し慢性に至ると、不可逆的な視力低下の原因ともなり得ます。

治療として、病変部に対するレーザー光凝固が有効であり、レーザー治療は長い間、網膜の細胞を破壊することで効果を得る治療でした。しかし近年、破壊することなしに治療効果を得るマイクロパルス閾値下レーザーが開発されました。短い凝固時間のレーザーを連続発振することにより、選択的に網膜色素上皮に熱のエネルギーが伝わるという性質を応用して開発された凝固斑の出ないレーザー治療です。マイクロパルスを用いた閾値下凝固は視機能を維持しながら浮腫を改善する新たな非侵襲的治療のひとつとして注目されています。当院ではマイクロパルスを用いた閾値下凝固を全国に先駆けて行っており、治療成績を新たな知見として発信することは、今後の治療を発展させるうえで意義があると考えております。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2020年3月31日までの予定です。

## 3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

カルテ ID、治療時年齢、性別、左右どちらの眼で治療をしたか

視力、FA 所見、OCT 所見、OCT angiography 所見、眼底自発蛍光所見 等